みにくいあひるの子（1970）

メディア 映画　アニメ
ジャンル ファミリー
製作国　日本
色彩　Color
時間　20分
初公開日 1970/08/01
公開情報 東宝

【解説】
　アンデルセンの有名な童話を原作にした、人形アニメーション映画。
　アヒルの兄弟に混じって育つ、見るからに見栄えのよくない雛鳥。雛鳥は他と違う我が身を哀しむが、成長した彼は、自分が美しい白鳥だったのだと気づく。
　1960年代から多くの人形アニメーションを制作してきた学研映画局による一本。セットにプラスチックなど素材を用いて幾何学的な抽象模様を築く一方、リアルで可愛い主人公の鳥たちとのコントラストが効果を上げた。空中を鳥が飛ぶシーンは実際に鳥のキャラクター人形を中空に吊るし、そのままコマ撮りするというかなり面倒な技法（現場の造語で「吊りメーション」）も用いられている。第二十三回大藤賞ほか複数の賞や推薦を獲得。なお本作は東宝系で公開され、同時上映は特撮怪獣映画『ゲゾラ・ガニメ・カメーバ　決戦！　南海の大怪獣』。

【クレジット】
演出　渡辺和彦
製作　原正次
　石川茂樹
企画　日本勧業銀行
原作　ハンス・クリスチャン・アンデルセン　Hans Christian Andersen
脚本　渡辺和彦
撮影　平井寛
　阿部行雄
美術　上田悌三
　中村貞雄
編集　橋本治郎
音楽　斎藤高順
声の出演　中村メイ子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.